

費用対効果分析に関する説明資料

事業名	農業生産法人等育成緊急整備事業	都道府県名	山口県	地区名	二島西第一
-----	-----------------	-------	-----	-----	-------

1. 費用便益比の算定

区 分	算 定 式	数 値	備 考
総 事 業 費		4,935,000千円	
年 効 用		318,412千円	
廃 用 損 失 額		-	廃用する施設の現存価値
総合耐用年数		31年	当該事業の耐用年数
還元率×(1+建設利息率)		0.0587	総合耐用年数に応じた効用から総便益を算定するための係数
総 便 益	= ÷ -	5,424,395千円	
費 用 便 益 比	= ÷	1.09	

2. 年効用の総括

項 目	年効果額(千円)	効果の内容
農作物の生産量の増加	50,167	水田の排水改良等による転作作物の面積拡大や単収の増加 対象作物：水稲、大豆、小麦、キャベツ、たまねぎ、ブロッコリー他
営農経費の節減	255,287	ほ場の大区画化による労働時間の短縮や機械経費の節減 対象作物：水稲、大豆、小麦、キャベツ、たまねぎ、ブロッコリー他
	15,139	用排水施設等の新設、改修、統廃合に伴う施設の維持管理費の増 対象施設：用水路、排水路、用水機場、排水機場、道路
施設更新による従前の農業生産の維持	8,166	老朽化した施設の更新による従前の農業生産の維持 対象施設：用水路、排水路、道路
施設更新による災害防止	2,621	排水施設の整備、新設により、農用地、農業用施設及び一般公共施設の湛水等被害の防止と軽減 対象施設：排水路、排水機場
地域の生活環境の保全・向上	15,504	発掘調査により文化的価値が明確となる効果 対象施設：古大里遺跡、古宮遺跡
	826	排水路の一部を水生生物の生息に配慮した水路とすることにより、生態系が保全される効果の発現 対象施設：排水路
	980	将来国土調査を行う予定であるが本事業を実施した場合に行う換地作業により付随的に地積が明確となる効果
計	318,412	